

Business Report

[第87期 報告書]

2015.4.1-2016.3.31

- P.01-04 トップインタビュー
サービス力を強化し、業界屈指の企業ブランドを確立、
新規事業の創出にも積極的に取り組み
継続的かつ安定的な成長をめざします。
- P.05-06 トピックス
- P.07-08 連結財務情報
- P.09-10 知っておきたい豆知識・会社概要

すべてはホスピタリティから。

サービス力を強化し、業界屈指の企業ブランドを確立、
新規事業の創出にも積極的に取り組み
継続的かつ安定的な成長をめざします。

代表取締役社長 野呂 裕一

収益構造の転換で 経常利益率10%を達成

2013年度から2015年度にかけて実施した前中期経営計画では、葬儀単価の低下や業界内での競合の激化をふまえ、営業収益の伸びよりも収益・費用構造を転換し利益を生み出す事を重視してきました。公益社大阪本社を中心としてグループ全体で業務プロセスおよび役割分担、組織体制の見直しに取り組み、その結果、前中期経営計画の2年目となる2014年度には、売上高経常利益率10%を確保する収益構造へと転換することができました。



品質向上への体制強化、仕組み構築でサービスを当社グループの差別化要因に

本来安定性が高いはずの葬祭業ですが、葬儀の小規模化や競合の激化など、事業環境は年々厳しくなっています。すでにスタートしている中期経営計画(2016~2018年度)では、こうした事業環境にあっても利益を維持していくために、これまで提供してきた付加価値の高い商品やサービスに、より磨きをかけることでお客様に満足いただき、“サービスの質や内容は二の次にして低価格を強調する”他社との差別化を図ります。

尊厳あるかたちで故人をお送りし、残されたご遺族が故人への責任を果たせたと満足できる、さらには参列者が心から良かったと思える質の高い葬儀、それに付随する人的サービス、商品サービスは当社グループの唯一無二の強みです。そしてそれは日々届くご遺族からのお礼の手紙やアンケートによっても裏付けられています。サービスを提供する「現場力」こそが当社グループの企業価値を生み出す源泉であり、競争優位性を保つための最重要項目であると考え、これまでに増して「現場」を中心としたサービスの品質向上を掲げ、「日本一お客様に満足いただける」「日本一感動いただける」一流のサービスを差別化要因としてブランドを確立していきます。

しかし一方でサービスは評価やチェックの仕方が難しいのも

事実です。そこで人的なホスピタリティやサービスをいかにマネジメントしていくかという仕組みづくりや評価基準を徹底させるために、東西の公益社内に「サービス向上委員会」を発足させました。これまで実施してきたお客様アンケートについても、回収率を上げる方法や質問するポイントを慎重に検討し、実際に改善されているのか、お客様に満足いただけているのかを目に見える形で示しながら、サービス品質の向上につなげていきたいと考えています。

新たなニーズをいち早くキャッチし ライフエンディングサポートの伸長を狙う

お客様の様々なニーズに対応すべく、葬儀の施行以外の部分でもご遺族をサポートする範囲を拡げています。なかでも需要を伸ばしているのが相続や遺品整理などライフエンディングサポートと称される葬儀前後のサービスです。外部の専門有資格者や事業者と協力してサポート内容を充実させていきます。例えば本年4月から家系図をつくるサービスもスタートさせました。今後は地域の方々が相談できる場所を拡げたり、自社単独で行うのみならず、業務提携や紹介契約等により、サービスメニューを拡大していきたいと考えています。将来的には私たちが窓口となってライフエンディングサポートのあらゆるニーズに応えてワンストップでお客様のお困り事に対応することをめざしています。

新規事業への積極的な取り組みで リスクを軽減しさらなる成長を目指す

この度の中期経営計画において特筆すべきものの一つに新規事業への本格的な取り組みがあります。これは葬儀とその周辺事業に特化したグループの事業ポートフォリオのリスクを軽減し、継続的かつ安定的な成長を遂げるための新しい試みと言えます。

葬儀事業が多額の設備投資や重い固定費を必要とするのに対して、新規事業は、低投資・低固定費型で、既存の経営資源や強みを活用することでシナジー効果が得られる事業を想定しており、すでに4月1日付で企画立案と推進を担当する「新規事業開発部」を設置。まったく新しいプロジェクトなので各部署から実力ある中堅メンバーを加え、各自これまでの経験を生かしながらもチャレンジ精神を身につけてもらうことで、事業同様に3年後、5年後を見据えて意欲的な社員を育てる環境整備も進めていこうと考えています。

東西の大都市圏を中心にグループ全体で 17会館を新設し、さらなる営業エリアの拡大をはかる

葬祭サービス業から総合ライフエンディングサービス業への進化にともない、葬儀会館はかつての神社仏閣のように人々の生活

をサポートする地域の要としてもその重要性を増してきています。前中期経営計画では、当初10店舗の計画に対し8店舗の出店という結果に終わりました。しかし店舗開発部門を新設し積極的に出店を強化したことで、クオリティーを保ちながらも低投資化を可能とするスタンダードを完成。本年度からスタートする中期経営計画では、そのスタンダードをもとに今後3年間で東西の大都市圏を中心にグループ全体で17会館の新設を予定しており、自社葬儀会館のドミナント展開で、よりスピードを重視した営業エリアの維持・拡大をめざしていきます。

新会館はすべて、床材やクロスの色調、調度などに統一したイメージをもたせたほか、部屋に漂うアロマの香りや動線、部屋やトイレの設えをはじめ、館内の随所に現場で働くスタッフの声が生かされており、お客様にご好評をいただいています。

継続的かつ安定的な成長で 投資するに値するブランド力を確立する

当社グループの業種上、過大なリスクを冒してまで飛躍的な成長をめざすことには無理があります。しかし上場企業である以上、株主様にご支援いただけるよう、事業の成長にコミットすべきだと認識しています。これからも成長のための投資を怠らず、多様化するニーズにあった商品、サービスを展開しながら、継続的かつ

安定的な成長を追求し、配当についても安定的向上に努める方針です。またコーポレートガバナンスやコンプライアンス、内部統制との密接な関連性を頭に置きながらリスクマネジメントを強化し、すべ

てにおいて上場企業として投資いただく価値のある強いブランド力を確立していく所存ですので、株主の皆様には変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。

グループ中期経営計画(2016～2018年度)

重点課題

① サービス品質向上への体制強化と仕組みの構築

「現場力」の強化によるサービス品質向上により、ブランド力の向上を図ることで競争優位性を保つ

② 葬儀事業の積極的な営業エリアの拡大

東西の大都市圏を中心に、積極的なドミナント出店による営業エリアの拡大を目指す

③ ライフエンディングサポート事業の伸長

ご遺族をサポートする範囲を拡大し、顧客満足と顧客単価の向上を図る

④ 新規事業創出への本格的取組み

グループの事業ポートフォリオのリスクを軽減し、中長期的に継続安定成長を実現するため、新たな収益の柱となる事業を求めて、新規事業にチャレンジする

⑤ 基盤整備の完遂

大規模会館の建替えオープンと案件全体の完遂により、会館施設の競争力の強化および外部支払コストの削減を実現するグループ会社である葬仙・タレイの収益力の改善を図る

⑥ リスクマネジメントの強化

リスクマネジメントを強化し、会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図る

財務目標

● 損益目標

	2015年度	→	3年後(2018年度)
営業収益	185億円	→	202億円
経常利益	17億円	→	19億円
売上高経常利益率	9.4%	→	9.6%

● 資本効率目標

	2015年度	→	3年後(2018年度)
総資本事業利益率(ROA)	6.6%	→	6.6%以上

※事業利益＝営業利益＋営業外収益

神戸・阪神エリアに新たに3会館がオープン

2016年1月25日に「公益社 六甲道会館」、3月21日に「公益社 甲南山手会館」が新設オープンいたしました。神戸エリアは、これまで「公益社 住吉御影会館」のみでしたが、六甲道、甲南山手を含む合計3会館となりました。いずれも国道2号線沿いにあり、神戸市東灘区および灘区のエリアです。そして、「公益社 西宮山手会館」のある西宮市の東隣、尼崎市に5月30日「公益社 武庫之荘会館」が新設オープンし、これら神戸・阪神エリアは合計5会館へと拡大いたしました。

● 公益社 六甲道会館 [1月オープン]



神戸市灘区徳井町5-1-5(国道2号線沿い)
・JR神戸線「六甲道」駅 南へ徒歩約7分
・阪神本線「石屋川」駅 北西へ徒歩約7分



式場

親族控室

安置室

● 公益社 甲南山手会館 [3月オープン]



神戸市東灘区本庄町2-13-20(国道2号線沿い)
・JR神戸線「甲南山手」駅 南東へ徒歩約5分



式場

親族控室

安置室

● 公益社 武庫之荘会館 [5月オープン]



兵庫県尼崎市水堂町3-18-21(山手幹線沿い)
・阪急神戸線「武庫之荘」駅 南へ徒歩約10分

● 公益社 住吉御影会館



兵庫県神戸市東灘区
住吉宮町7-3-8
(国道2号線沿い)
・JR神戸線「住吉」駅
南西へ徒歩約7分
・阪神本線「御影」駅
北東へ徒歩約7分

● 公益社 西宮山手会館



兵庫県西宮市
城ヶ堀町1-40
(山手幹線沿い)
・JR神戸線「西宮」駅
北西へ徒歩約10分
・阪神本線「西宮」駅
北東へ徒歩約10分



NEWS

枚方エリアに新規オープン「公益社 くずは会館」 [5月オープン]

2016年5月16日、大阪府枚方市に、「公益社 くずは会館」を新設オープンいたしました。京阪本線「樟葉」駅から南東へ徒歩約5分の所に位置します。



大阪府枚方市樟葉並木2-13-11
(くずはアベニュー沿い)

グループ3社の 本社・本部機能を移転・集約 ～間接部門の中長期的なコスト削減を図る～

グループ会社間の連携強化と間接部門の中長期的なコスト削減を図ることを目的として、旧・天神橋会館を「燦ホールディングスグループ大阪本社」に改装し、燦ホールディングスおよび公益社の大阪本社・本部機能ならびにエクセル・サポート・サービスの本社を2015年12月21日に移転、集約いたしました。



燦ホールディングスグループ大阪本社
大阪市北区天神橋4-6-39

仏壇・仏具のショールーム

「仏壇ギャラリーユーアイ 天神橋本店」をオープン

東大阪市にあった「仏壇ギャラリーユーアイ」本店を大阪本社1階に移転し、「仏壇ギャラリーユーアイ 天神橋本店」として、2016年1月9日に新店舗をオープンいたしました。

仏壇130台、仏像100体を常時展示、線香・ローソク・小物等、多数取り揃えています。



仏壇ギャラリーユーアイ 天神橋本店
大阪市北区天神橋4-6-39

- ・JR環状線「天満」駅 南へ徒歩約5分
- ・地下鉄堺筋線「扇町」駅 東へ徒歩約3分

連結財務情報

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
〔資産の部〕		
流動資産	4,974	4,063
● 現金及び預金	3,760	2,831
営業未収入金	649	568
商品及び製品	121	111
繰延税金資産	270	289
その他	172	263
固定資産	21,759	22,979
● 有形固定資産	19,317	20,509
建物及び構築物	7,126	7,375
土地	11,435	12,131
建設仮勘定	404	611
その他	351	389
無形固定資産	330	139
投資その他の資産	2,112	2,330
資産合計	26,734	27,042

現金及び預金

新規会館用地の取得および既存会館のリニューアル投資等の資金需要に内部資金で対応したため9億29百万円減少。

有形固定資産

減価償却が11億43百万円進む一方、公益社天神橋会館の新築リニューアルオープン(2015年6月)、公益社西大寺会館(同年9月)、公益社六甲道会館(2016年1月)、公益社甲南山手会館(同年3月)の開設、新規会館予定資産の購入等により、11億91百万円増加。

純資産

当期純利益の計上3億68百万円、剰余金の配当2億24百万円により、1億43百万円増加。自己資本比率は80.8%(前連結会計年度末比0.3ポイント減)。

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
〔負債の部〕		
流動負債	2,991	2,650
営業未払金	761	781
短期借入金	15	15
1年内返済予定の長期借入金	176	128
賞与引当金	450	428
その他	1,587	1,297
固定負債	2,049	2,555
長期借入金	1,180	1,051
厚生年金基金解散損失引当金	—	690
その他	868	812
負債合計	5,040	5,205
〔純資産の部〕		
株主資本	21,693	21,837
資本金	2,568	2,568
資本剰余金	5,488	5,488
利益剰余金	14,650	14,793
自己株式	△ 1,013	△ 1,013
● 純資産合計	21,693	21,837
負債純資産合計	26,734	27,042

営業収益

グループ中核の㈱公益社は、葬儀件数が前期比0.9%増加したものの、送迎用マイクロバス等の取引形式の変更に伴う運送収入が減少し、前期比0.4%減収。㈱葬仙は葬儀単価の低下により前期比0.2%減収。㈱タライは葬儀件数増により前期比9.0%増収。この結果、連結営業収益は前期比0.4%増収。

営業利益・経常利益

BPR(全体最適をめざす業務改革)の推進による人件費の減少分を上回る減価償却費の増加(大規模会館リニューアルに伴う)により営業費用が2.5%増。この結果、営業利益、経常利益ともに前期比13.8%減。売上高経常利益率は9.4%。

特別損失

グループ会社3社が加入する大阪府貨物運送厚生年金基金の解散に伴う損失見込額として6億90百万円、会館リニューアルに係る減損損失および移転損失見込額1億13百万円等を計上。

Consolidated Financial Highlights

連結業績の推移

第2四半期 期末

連結損益計算書 (単位:百万円)

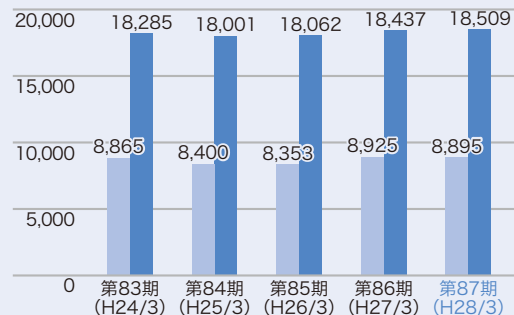
	前連結会計年度 〔平成26年4月1日～ 平成27年3月31日〕	当連結会計年度 〔平成27年4月1日～ 平成28年3月31日〕
営業収益	18,437	18,509
営業費用	14,946	15,324
営業総利益	3,490	3,185
販売費及び一般管理費	1,472	1,446
営業利益	2,018	1,739
営業外収益	51	34
営業外費用	48	30
経常利益	2,021	1,742
特別利益	0	0
特別損失	145	892
税金等調整前当期純利益	1,877	850
法人税、住民税及び事業税	871	747
法人税等調整額	20	△ 265
当期純利益	985	368

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

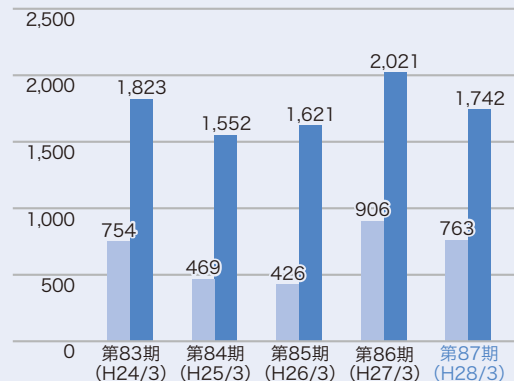
	前連結会計年度 〔平成26年4月1日～ 平成27年3月31日〕	当連結会計年度 〔平成27年4月1日～ 平成28年3月31日〕
営業活動による キャッシュ・フロー	2,598	2,002
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,701	△ 2,446
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,108	△ 485
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 211	△ 929
現金及び現金同等物の 期首残高	3,972	3,760
現金及び現金同等物の 期末残高	3,760	2,831

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

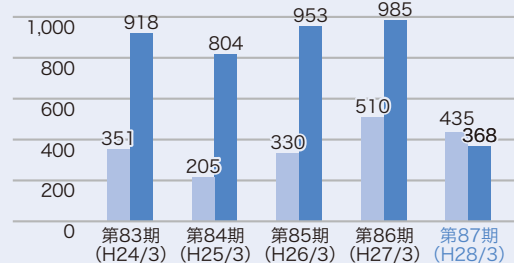
営業収益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

仏壇の種類と設置場所について

仏壇には大きく分けて三つの種類があります。オーソドックスな木目調の唐木仏壇、漆と金箔を使用した金仏壇、洋間にも合うデザインの家具調仏壇です。お値段は様々で、数万円から数千万円までかなりの幅があります。素材や素材の使用率（表面だけか、すべてその素材でできているか）、装飾の手間などがお値段に反映されます。

仏壇の設置場所は、仏間があればそこに置きます。仏間がなければ直射日光があたり、風通しが良く、お参りしやすい場所に置きましょう。方角に関しては地方や宗派によって諸説ありますのでお寺様にご相談ください。またお参りする際、自分の目線より少し高い位置にご本尊がくるような配置が理想的です。とはいえ都市部では十分な場所が得られない場合も多いため、最近



金仏壇

唐木仏壇

家具調仏壇

金仏壇／日本の伝統的な漆工技術を活かして外側に漆、内側に金箔を使用しています。
唐木仏壇／黒檀、紫檀、サクラなどの木で作られています。木目が活かされた重厚な趣があります。
家具調仏壇／洋間にも合うように作られた仏壇です。一見すると家具と見まがうデザインです。

では棚の上にも置けるコンパクトな仏壇の
人気が高まっています。

【葬祭施設ネットワーク】2016(平成28)年6月30日現在

公益社
(首都圏)

公益社 用賀会館
公益社 高円寺会館
公益社 明大前会館
公益社 田園調布会館
公益社 雪谷会館
公益社 高輪会館
公益社 仙川会館
公益社 会館 たまプラーザ
公益社 日吉会館

東京都世田谷区瀬田3-6-8
東京都杉並区高円寺北2-2-5
東京都杉並区和泉2-8-6
東京都世田谷区東玉川2-30-9
東京都大田区南雪谷2-1-7
東京都港区高輪2-16-13 道往寺内
東京都調布市仙川町3-1-3
東京都青葉区美しが丘2-21-4
横浜市港北区箕輪町2-2-15

公益社
(近畿圏)

公益社 天神橋会館
公益社 森小路会館
公益社 城東会館
公益社 西田辺会館
公益社 玉出会館
公益社 豊中会館
公益社 石橋会館
公益社 吹田会館
公益社 江坂会館
公益社 千里会館
公益社 高槻会館
公益社 守口会館
公益社 枚方会館
公益社 正俊寺会館
公益社 くずは会館
公益社 東大阪会館
公益社 共善はびきの会館
公益社 堺会館
公益社 なかもず会館
公益社 岸和田会館
公益社 西大寺会館
公益社 学園前会館

大阪府北区天神橋4-6-42
大阪府旭区今市2-22-7
大阪府城東区関目1-21-20
大阪府阿倍野区阪南町5-16-1
大阪府西成区玉出西1-3-4
豊中市南桜塚1-21-4
池田市井口堂1-12-6
吹田市市本町1-21-3
吹田市豊津町16-13
吹田市桃山台5-3-10
高槻市野見町4-4
守口市大日町3-4-28
枚方市山之上東町1-1
枚方市長尾宮前2-2-1
枚方市楠葉並木2-13-11 **New**
東大阪市俊徳町1-6-28
羽曳野市恵我之荘3-4-25
堺市堺区宿屋町西1丁1-27
堺市北区中百舌鳥町2丁322-1
岸和田市上野町東5-1
奈良市二条町1-1-10
奈良市学園大和町2-110-3

公益社
KOEKISHA

ご葬儀相談
センター
0120-347-556

ご葬儀相談
センター
0120-567-701

葬 (山陰地方)

0120-444-200

葬 (SOU-SEN)

タルイ
(兵庫県南部)

0120-365-365

タルイ

公益社 富雄会館
公益社 六甲道会館
公益社 甲南山手会館
公益社 住吉御影会館
公益社 武庫之荘会館
公益社 西宮山手会館
公益社 宝塚会館

奈良市富雄北1-7-7
神戸市灘区徳井町5-1-5 **New**
神戸市東灘区本庄町2-13-20 **New**
神戸市東灘区住吉宮町7-3-8
尼崎市水堂町3-18-21 **New**
西宮市城ヶ堰町1-40
宝塚市小浜2-2-63

鳥取ホール
吉方ホール
岩美ホール
米子葬祭会館
安倍ホール
福米ホール
境港ホール
余子ホール
安来ホール
松江葬祭会館
比津ホール
東出雲ホール

鳥取県鳥取市商栄町171
鳥取県鳥取市吉方153-7
鳥取県岩美郡岩美町浦富645-9
鳥取県米子市長砂町1075
鳥取県米子市安倍51
鳥取県米子市新開6-3-15
鳥取県境港市上道町3588
鳥取県境港市竹内町1864-2
島根県安来市安来町977
島根県松江市東津田町1738
島根県松江市比津町31
島根県松江市東出雲町錦浜583-23

タルイ会館 神戸西
タルイ会館 舞子
タルイ会館 大蔵谷
タルイ会館 新明
タルイ会館 大久保
タルイ会館 長坂寺
タルイ会館 魚住
タルイ会館 土山
タルイ会館 東加古川

神戸市西区玉津町出合213-1
神戸市垂水区舞子坂4-5-20
明石市大蔵町2-16
明石市新明町9-52
明石市大久保町松陰1111
明石市魚住町長坂寺175-1
明石市魚住町中尾345-1
明石市二見町福里549-1
加古川市平岡町一色74

全59会館(公益社38、葬仙12、タルイ9)

会社概要 2016(平成28)年3月31日現在

商号 燦ホールディングス株式会社
 本社所在地 大阪本社
 〒530-0041
 大阪市北区天神橋4丁目6番39号
 東京本社
 〒107-0062
 東京都港区南青山1丁目1番1号
 新青山ビル西館14階

創業 1932(昭和7)年8月

資本金 25億6,815万円

事業内容 持株会社事業
 不動産事業
 管理業務受託事業

グループ会社 葬祭事業
 株式会社公益社 <首都圏・近畿圏>
 株式会社葬仙 <山陰地方>
 株式会社タライ <兵庫県南部>
 葬祭関連事業
 エクセル・サポート・サービス株式会社
 警備業および施設管理・清掃業・料理事業・葬祭事業

経営理念 2009(平成21)年4月2日制定

私たちは、大切な人との最期のお別れを
 尊厳あるかたちでお手伝いします。

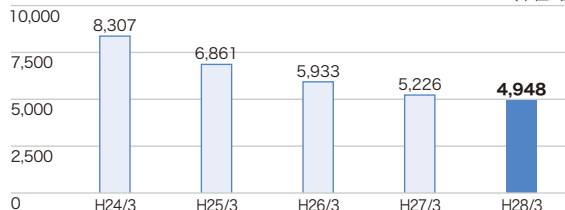
そして、それにとどまらず、
 人生のマイナスからプラスへの
 ステップを支える最良のパートナーを目指します。

株式の状況 2016(平成28)年3月31日現在

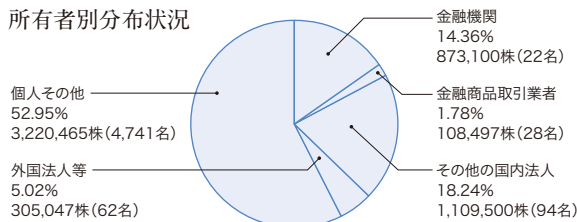
発行可能株式総数 21,000,000株
 発行済株式の総数 6,082,008株

株主数の推移

(単位:名)



所有者別分布状況



※上記構成には当社所有の自己株式465,399株(7.65%)は含みません。

役員 2016(平成28)年6月23日現在

取締役 会長	小西 幸治	常勤監査役(社外)	内藤 光昭	専務執行役員	宮島 康子	執行役員	森 弘幸
代表取締役社長	野呂 裕一	常勤監査役	秦 一二三	常務執行役員	鈴江 敏一	執行役員	大西 健二
代表取締役副社長	播島 聡	監査役(社外)	高橋 秀彰	常務執行役員	大井 信三	執行役員	宮崎 年容
取締役 役	的羽 元司	監査役(社外)	田村 茂	常務執行役員	池内 義彦	執行役員	築井 伸司
取締役(社外)	棚橋 康郎			常務執行役員	山本 浩	執行役員	宮永 誠治
取締役(社外)	原田 雅俊			常務執行役員	小林 大介		

表紙について

白のバラの花言葉も紫のバラと同様、尊敬です。
当社グループの事業において大切にしている
ことをこの花に表しています。



<http://www.san-hd.co.jp>

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめとして、
IR 情報や会社情報など様々な情報をご案内しております。



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

株主メモ

証券コード/9628

事業年度/毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会/毎年6月

基準日/定時株主総会 毎年3月31日

／期末配当金 毎年3月31日

／中間配当金 毎年9月30日(その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。)

単元株式数/100株

株主名簿管理人および/〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人/〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先/〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先/☎0120-782-031

インターネットホームページURL/<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法/日本経済新聞に掲載します。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用できなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

※この冊子についてのお問い合わせは、下記IR専用電話番号までお願いいたします。

お問い合わせ先 IR担当/TEL.06-6226-0038 FAX.06-6881-3340 ご提供資料/事業報告書(中間事業報告書) アニュアルレビュー Eメールアドレス/ir@san-hd.co.jp